

# PFI Private Finance Initiative

# PPP Public Private Partnership

## PFI/PPP推進協議会 平成17年度活動レポート (2006年07月発行)

### CONTENTS

啓蒙・普及活動報告 .....	01
地方PFI / PPPセミナー	
成果報告会	
ホームページ	
部会活動報告	
リスク・契約研究部会 .....	03
A・B市廃棄物処理施設PFI事業化	
可能性検討部会 .....	05
日本版PPP調査研究部会 .....	07
水問題研究部会 .....	09
推進体制	
平成17年度推進体制 .....	13
平成18年度推進体制 .....	14
平成18年度会員リスト .....	裏表紙



### はじめに

## PFIを巡る動き

### PFIの実施状況

平成11年9月に「民間資金等の活用による公共施設等の促進に関する法律」(PFI推進法)が施工されて、7年が経過しようとしていますが、この間、国、地方自治体、民間事業者など関係者の努力により、244件(平成18年3月末現在)のPFI事業が動き出し、公共サービスの向上や拡大に寄与してきました。

今後も新たな公共事業、公共サービスの提供手法として発展が期待されています。

### PFI法改正の動き

平成16年度より、政府、自民党、各種団体などにより、PFI推進法の見直しが検討、議論されてきましたが、各方面からの要望やヒアリングを受けて、政府は平成17年8月に行政財産の貸付の拡充等を織り込んだPFI推進法の改定を実施しました。

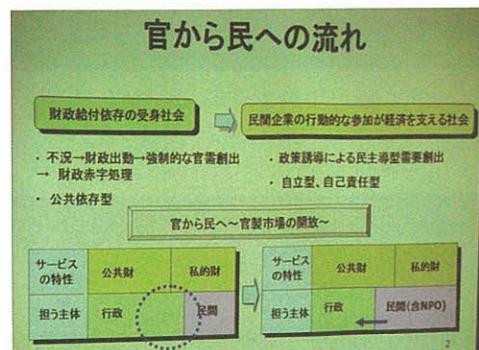
# 啓蒙・普及活動報告

## 地方PFI・PPPセミナー 成果報告会 ホームページ

### 地方PFI・PPPセミナー

近年、PFI事業は東京等の大都市圏のみならず、地方において多くの計画や実績が出てきています。このような背景から、平成17年度は地方でのPFI/PPPの啓蒙普及や検討案件の発掘等を目的として、各地域の経済産業局と連携し、7拠点都市において「地方PFI/PPPセミナー」を開催しました。

地方自治体や地域の企業の方々が多く参加され、講師によるPFI事業の現状や課題、具体的実例等についての説明を熱心に聴講されました。



実施箇所	実施日・場所	演題・講師
東北経済産業局	2006/03/02 パレス宮城野 (86名)	1. PPP～官民連携の新たな仕組みと展開 美原 融氏 2. PFIの現状と課題 大島 邦彦氏
中部経済産業局	2005/11/14 愛知県産業貿易館 (96名)	1. PPP～官民連携の新たな仕組みと展開 美原 融氏 2. 上水、工業用水道事業の効率化への提言 塩田 哲郎氏
近畿経済産業局	2006/01/25 近畿経産局会議室 (50名)	1. PFI／PPPの理論と実践 平木 俊一氏 2. PPP～官民連携の新たな仕組みと展開 美原 融氏 3. C市文化センターの事業化検討について 清水 洋一郎氏
中国経済産業局	2005/11/10 中国経産局会議室 (53名)	1. PPP～官民連携の新たな仕組みと展開 美原 融氏 2. PFIによる健康プラザの新提案 清水 洋一郎氏 橋本 龍治氏
四国経済産業局	2006/01/26 徳島プリンスホテル (65名)	1. PFI／PPPの理論と実践 平木 俊一氏 2. PPP～官民連携の新たな仕組みと展開 美原 融氏 3. PFIの現状と課題 大島 邦彦氏
九州経済産業局	2005/11/22 九州経産局会議室 (49名)	1. PFIの現状と課題 大島 邦彦氏 2. 上水、工業用水道事業の効率化への提言 塩田 哲郎氏
沖縄経済産業部	2005/10/24 沖縄経済産業部会議室 (57名)	1. PPP～官民連携の新たな仕組みと展開 美原 融氏 2. PFIの現状と課題 大島 邦彦氏

## 成果報告会

協議会の重要な活動である部会活動の成果を広く公開し、自治体・民間企業関係者の皆様の業務に役立てるよう、以下のとおり「平成16年度成果報告会」を開催しました。

主催：PFI／PPP推進協議会

共催：(財)エンジニアリング振興協会

日時：平成17年7月15日(金) 13:30～17:00

場所：東京 芝公園 機械振興会館



### プログラム

#### (1) 日本版PPP調査研究部会

〈発表者〉(株)三井物産戦略研究所 プロジェクト・エンジニアリング室長 美原 融氏

〈内容〉平成16年度部会活動の概要報告と、PPPを取り巻く規制改革の最前線についての講演

#### (2) リスク・契約研究部会

〈発表者〉(株)熊谷組 プロジェクトエンジニアリング室 室長 大島 邦彦氏

〈内容〉これまでに公表された197件(平成16年度末)のPFI事業の概要報告を行うとともに、現状のPFI事業が抱える課題への意見・提言を報告

#### (3) 特別講演：日本の水行政の現状と未来展望

〈発表者〉東京都立大学大学院 教授 小泉 明氏

〈内容〉「水問題研究部会本部会」報告に代え、東京都立大学 小泉教授による講演  
水行政について、PFIのみならず、広く将来を展望する

#### (4) 水道事業者分科会(水問題研究部会)

〈発表者〉作新学院大学大学院 教授 石井 晴夫氏

電源開発(株) 事業企画部 調査役 塩田 哲郎氏

〈内容〉水道事業者(自治体)側からの問題意識(=水道事業における課題および同事業への民間活用に係わる課題)を抽出し、解決の方向性を議論

#### (5) F市上下水道統合経営効率化検討部会

〈発表者〉電源開発(株) 事業企画部 調査役 塩田 哲郎氏

〈内容〉具体的な地方公共団体(F市)の上水道事業及び下水道事業を効率化する為に、最終的には統合することを視野に於きつつ、現状の分析より入り、課題を抽出し、るべき姿を模索しつつ、それに向けての解決策を提示

## 協議会のホームページ

協議会の活動を広く知っていただくために、(財)エンジニアリング振興協会ホームページの中に協議会専用のホームページを設けております。 <http://www.enaa.or.jp/PFI/>

ホームページ内には協議会の各種活動状況やセミナー、報告会の開催案内などを記載しております。

# 部会活動報告 1

## リスク・契約研究部会

### 部会長会社

(株)熊谷組

### メンバー (19社)

(株)熊谷組、石川島播磨重工業(株)、(株)NTTデータ、(株)荏原製作所、(株)奥村組、川崎重工業(株)、三菱化工機(株)、新東産業(株)、戸田建設(株)、(株)明電舎、大日本土木(株)、(株)タケエイ、鉄建建設(株)、電源開発(株)、東京電力(株)、飛島建設(株)、日本ガイシ(株)、(株)日本総合研究所、パシフィックコンサルタンツ(株)

### オブザーバー

岐阜県清掃事業協同組合、新潟大学 教授 平木 俊一氏

### 部会開催日程

- ①平成17年 8月29日 部会長選出、今年度の活動方針について
- ②平成17年10月11日 樋口弁護士 講演：「タラソ福岡の事業者の経営破綻と今後のPFIのあり方」
- ③平成17年11月15日 PFI法改定を受けて、現状の課題、改善要望等について議論
- ④平成17年12月27日 武藏工業大学環境情報学部 宮本教授 講演：「PFI法改正を受けた今後の検討課題について」
- ⑤平成18年 2月16日 PFI法改正を踏まてガイドライン等の改正審議
- ⑥平成18年 4月14日 平成17年度報告書の取り纏め等について

### 調査研究内容の概略

#### 1. PFI関連制度等の整備

PFIの導入状況、民間団体のPFI改正要望、政府・自民党におけるPFI改正動向、並びに指定管理者制度導入状況、PFI事業関連支援措置について取り纏めた。

#### 2. 実施中PFI事業の調査、分析

昨年度に引き続き公表された244件（平成17年度末）の事業案件について、その内容、公募実施状況、結果等の分析、整理を行った。

#### 3. 運営段階におけるPFI事業課題

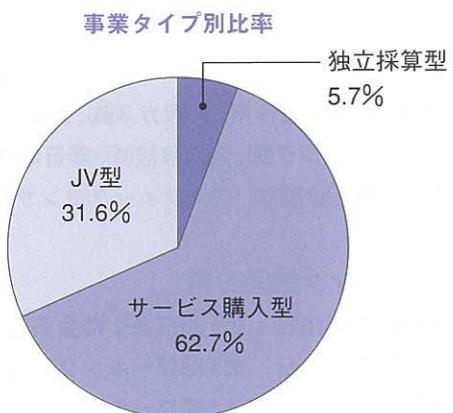
福岡タラソ事業破綻や仙台スポーツパーク松森の天井落下事故等に関する考察を行った。

#### 4. 現状における我が国PFIの課題と考察

以上の報告を踏まえて我が国PFI事業の課題と考察を取り纏めた。

## PFI事業調査集計：事業タイプ別件数及び比率

事業タイプ	件 数	比 率
独立採算型	14	5.7%
サービス購入型	153	62.7%
J V 型	77	31.6%
合 計	244	100.0%



## PFI事業調査集計：分野別集計（地域分布）

## 事 業 数

0件	(7)
1件～ 4件	(26)
5件～ 9件	(9)
10件～ 14件	(3)
15件～ 20件	(2)

北海道  
5青森  
0

秋田 1 岩手 3

山形 4 宮城 6

福島 2

栃木 1 埼玉 7

茨城 3

東京 20 千葉 12

新潟 4

群馬 0

富山 2

長野 2

山梨 2

愛知 11

静岡 7

神奈川 14

兵庫 8	京都 4
大阪 17	奈良 1
滋賀 3	岐阜 2
和歌山 0	三重 3
高知 1	徳島 1

島根 3	鳥取 0
広島 7	岡山 6
愛媛 0	香川 2
高知 1	徳島 1

沖縄 0

佐賀 1	福岡 5
長崎 1	大分 3
熊本 2	宮崎 0

鹿児島 1

## 部会活動報告 2

# A・B市廃棄物処理施設PFI事業化可能性検討部会

### 部会長会社

電源開発(株)

### メンバー (19社)

電源開発(株)、(株)荏原製作所、大阪ガス(株)、川崎重工業(株)、(株)熊谷組、(株)建設技術研究所、五洋建設(株)、JFEエンジニアリング(株)、清水建設(株)、新日本製鐵(株)、大日本土木(株)、(株)タクマ、(株)タケエイ、東京電力(株)、東洋建設(株)、戸田建設(株)、飛鳥建設(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)、日本政策投資銀行

### 部会・ワーキング開催日程

- ①平成17年 6月10日 第1回部会：部会長選出、部会活動方針について審議
- ②平成17年 7月25日 第1回ワーキング：検討項目の洗い出しと意見交換
- ③平成17年 8月29日 第2回ワーキング：論点整理
- ④平成17年 9月 7日 第2回部会：論点に対する意見交換
- ⑤平成17年10月 5日 第3回ワーキング：中間報告の内容審議
- ⑥平成17年10月12日 第3回部会：中間報告の骨格について報告
- ⑦平成17年10月31日 第4回ワーキング：中間報告取り纏め
- ⑧平成17年12月22日 第5回ワーキング：論点整理、最終報告取り纏め内容審議
- ⑨平成18年 1月12日 第4回部会：最終報告案審議、意見交換

### 調査研究内容の概略

#### 1. PFIの枠組み

PFIの特徴を公設と比較整理し、また、民営化との違い等を整理した上で、A・B市のPFI事業化の前提条件と事業枠組みを明らかにした。

#### 2. PFI導入効果

PFIを導入した場合のVFMの源泉を明らかにし、類似事業実績等を挙げてVFMが得られることを示した。

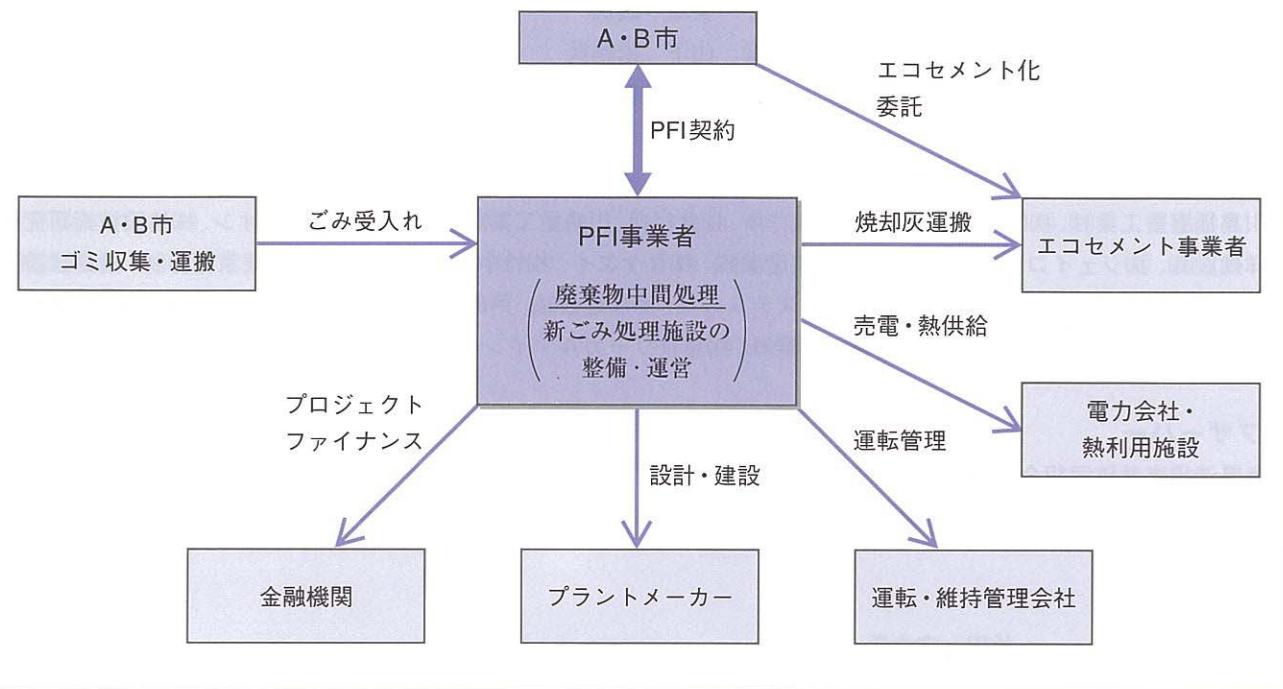
#### 3. PFI導入の留意点

事業の骨格における留意点として、BOT方式とBTO方式を比較検討し、本事業においてはBOT方式を基本とすべきことを提言した。それに加え、採用技術、付帯事業、事業期間、モニタリング、官民リスク分担等、事業全般にわたっての留意点を検討し、事業のあり方を提言した。

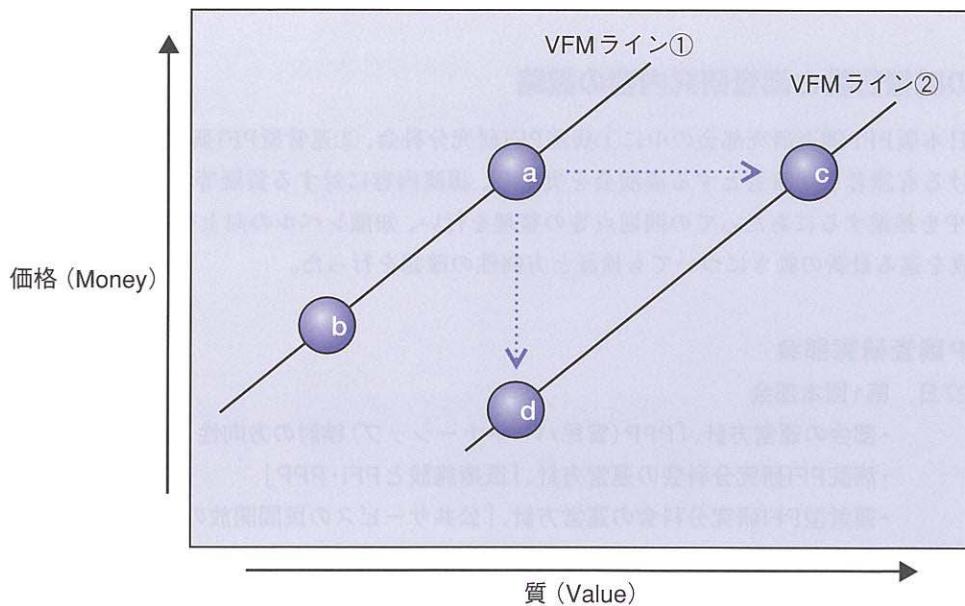
#### 4. 事業者選定プロセス

事業者選定プロセスに係る論点を整理し、選定のあるべき姿を明らかにした。

## PFI事業の範囲とPFIのスキーム



## VFMの概念



# 部会活動報告 3

## 日本版PPP調査研究部会

### 病院PFI研究分科会／運営型PFI研究分科会

#### 部会長・分科会長

部 会 長 (株)三井物産戦略研究所 美原 融氏  
 病院PFI研究分科会長 PwC アドバイザリー(株) 山下 公輔氏  
 運営型PFI研究分科会長 (株)ジェイコム 清水 洋一郎氏

#### メンバー (29社)

石川島播磨重工業(株)、(株)NTTデータ、(株)荏原製作所、(株)奥村組、川崎重工業(株)、(株)熊谷組、(株)ケシオン、(株)建設技術研究所、五洋建設(株)、(株)ジェイコム、清水建設(株)、新東産業(株)、(株)タケエイ、(株)竹中土木、鉄建建設(株)、東京電力(株)、飛島建設(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)、富士電機システムズ(株)、鹿島建設(株)、戸田建設(株)、PwC アドバイザリー(株)、ヒロセ(株)、(株)明電舎、大阪ガス(株)、大日本土木(株)、電源開発(株)、(株)東京リーガルマインド、(株)日本総合研究所

#### オブザーバー

岐阜県清掃事業協同組合、府中市、  
 新潟大学経済学部大学院 現代社会文化研究科 教授 平木 俊一氏

#### アドバイザー

内閣官房参事官 杉田 定大氏  
 鳥取大学地域学部教授 光多 長温氏

#### 部会・分科会の開催日程と調査研究内容の概略

平成17年度は日本版PPP調査研究部会の中に①病院PFI研究分科会、②運営型PFI研究分科会を設置し、下記の通り各界各分野における有識者を講演者とする講演会を実施し、講演内容に対する質疑等を通じ各分野における固有の問題も含めPFI/PPPを推進するにあたっての問題点等の整理を行い、知識レベルの向上を図った。また、市場化テスト等の官業の民間開放を巡る最新の動きについても検証と方向性の確認を行った。

#### (1) 日本版PPP調査研究部会

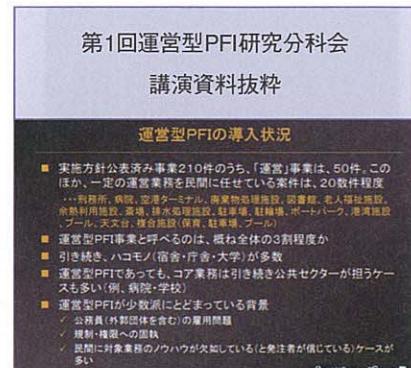
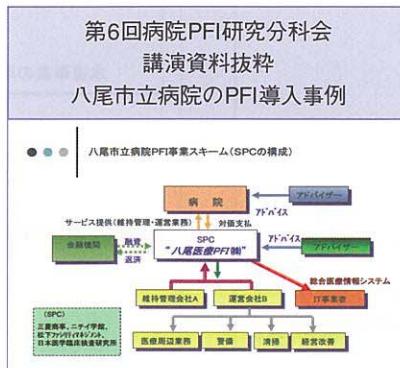
- ①平成17年7月27日 第1回本部会
  - ・部会の運営方針、「PPP(官民パートナーシップ)検討の方向性と考え方」
  - ・病院PFI研究分科会の運営方針、「医療施設とPFI・PPP」
  - ・運営型PFI研究分科会の運営方針、「公共サービスの民間開放の背景」
- ②平成18年2月28日 第2回本部会
  - ・「規制改革・PPPの最新動向報告」～公共サービス改革法を巡る動き～  
講演者：(株)三井物産戦略研究所 美原 融氏
- ③平成18年5月22日 第3回本部会
  - ・病院PFI研究分科会活動の総括
  - ・運営型PFI研究分科会活動の総括
  - ・次年度の取り組み方針

## (2) 病院PFI研究分科会

- ①平成17年 8月31日 第1回分科会：「厚生労働省の政策調査について」  
 (株)三井物産戦略研究所 美原 融氏
- ②平成17年 9月16日 第2回分科会：「病院PFI推進のガイドライン」のレビュー  
 アイテック(株) 石田 信之氏
- ③平成17年10月19日 第3回分科会：「大きく変わる病院経営」～収支から安全、質、満足へ～  
 厚生労働省国立医療科学院 長谷川 敏彦氏
- ④平成17年11月30日 第4回分科会：「川崎市立多摩病院の開設準備」  
 川崎市立多摩病院長 亀谷 学氏
- ⑤平成18年 1月16日 第5回分科会：「病院PFIにおけるリスクと保険」  
 共立インシュアランス・ブローカーズ 丹野 泰氏
- ⑥平成18年 2月13日 第6回分科会：「八尾市立病院のPFI導入事例」  
 八尾市立病院事務局 井上 剛一氏
- ⑦平成18年 4月25日 第7回分科会：「医療PFIで公より求められるものは何か」  
 オリックス(株) 杉原 篤氏
- ・総括

## (3) 運営型PFI研究分科会

- ①平成17年 9月12日 第1回分科会：「独立採算型PFI事業の運営課題と財務」  
 PwC アドバイザリー(株) 野田 由美子氏
- ②平成17年 11月 9日 第2回分科会：「官業の民間開放について」  
 内閣府市場化テスト推進室 桜井 和人氏  
 「指定管理者制度について」～北九州市の取り組みから～  
 北九州市総務市民局 梅本 和秀氏
- ③平成18年 2月 6日 第3回分科会：「進化するPFI」～イギリスの最新事情～  
 駐日英國大使館商務部 リーブス 加代子氏
- ④平成18年 3月15日 第4回分科会：「図書館におけるPPPについて」  
 (株)NTTデータ 日高 昇治氏
- ・総括



# 部会活動報告 4-1

## 水問題研究部会

水道事業者分科会／上水道広域化検討分科会

### < 部 会 >

#### 部会長会社

電源開発(株)

#### メンバー (19社)

電源開発(株)、(株)NTTデータ、(株)荏原製作所、大阪ガス(株)、川崎重工業(株)、(株)熊谷組、清水建設(株)、(株)ジャパンウォーター、大日本土木(株)、(株)竹中土木、鉄建建設(株)、東京電力(株)、(株)東芝、東洋エンジニアリング(株)、東洋建設(株)、日本ガイシ(株)、(株)日本総合研究所、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)明電舎

#### アドバイザー

作新学院大学大学院 経営学研究科教授 石井 晴夫氏

#### 部会開催日程

- ①平成17年 8月30日
  - ・部会長選出、今後の活動方針
  - ・年度はじめにあたっての全体説明
- ②平成17年 11月28日
  - ・水道事業者によるパネル・ディスカッション
  - タイトル：「PFIが浸透したとは言いがたい水道事業における今後の民活の方向性」
- ③平成18年 2月 8日
  - 講演：「欧洲におけるPPPの活用 ドイツの水道事業を中心とした紹介」
  - 日本政策投資銀行 調査役 加藤 隆宏氏
- ④平成18年 4月13日
  - 講演：「水道事業の事業形態を考える」
  - 日本政策投資銀行 課長 佐野 修久氏

#### 活動内容の概略

本研究部会の分科会として設置した「水道事業者分科会」、「上水道広域化検討分科会」における検討状況をベースにした情報提供を目的に、分科会メンバーによるパネル・ディスカッションや外部の有識者による講演会を開催し、部会員相互によるディスカッションの場の提供を活動の中核とした。

**第3回水問題研究部会 資料抜粋**  
講演：「欧洲におけるPPPの活用」

欧州におけるPPPの活用  
ドイツの水道事業を中心とした紹介  
2006年2月  
日本政策投資銀行/環境・エネルギー部  
加藤 隆宏

我が国へのPPPの適用可能性  
(1)組織形態のベクトルと権限委託のベクトル

組織形態	権限委託
公	官
私	民

**第4回水問題研究部会 資料抜粋**  
講演：「水道事業の事業形態を考える」

水道事業の事業形態を考える  
平成18年4月13日  
日本政策投資銀行 地域企画部  
公民連携班 佐野 修久

II. PPP活用の方向(5)  
～現在提供中の公共サービスにおけるPPP(2)

## < 水道事業者分科会 >

### 分科会長

作新学院大学大学院 経営学研究科教授 石井 晴夫氏

### メンバー (6自治体)

愛知県企業庁、大阪府水道部、北九州市水道局、名古屋市上下水道局、我孫子市水道局、志木市役所

### 部会開催日程

- ①平成17年 7月27日
  - ・自己紹介
  - ・研究内容に関する要望抽出
  - ・【問題提起】「公共性と事業性を繋ぐもの」
  - ・意見交換
- ②平成17年 9月20日
  - ・【問題提起】「前回の論点の整理」
  - ・意見交換
- ③平成17年11月16日
  - ・【問題提起】「水道事業の持つ6つの特性の深掘り」
  - ・意見交換
- ④平成18年 2月 6日
  - ・【問題提起】「日本水道協会編纂の水道事業業務指標に関する議論」
  - ・意見交換
- ⑤平成18年 3月28日
  - ・【問題提起】「日本水道協会編纂の水道事業業務指標に関する議論—2」
  - ・意見交換
- ⑥平成18年 5月16日
  - ・【問題提起】講演：「水道事業の業務指標について」
  - (株)日水コン 東京水道事業部 事業部長 竹村 雅之氏
  - ・意見交換

### 調査活動内容

本分科会は、水道事業者である地方自治体の視点からの検討を実施し、将来的にその成果を民間企業サイドの考え方とも融合し、官民相互による提言に結びつけていくことを目指すものである。

水道事業者側は今、「量より質へ」と軸足を移しつつある中で、水道事業の事業指標として「公共性と事業性の接点」にも視点が向けられつつある。

本年度はこの接点について以下の検討を行った。

- ・るべき事業指標論
- ・日本水道協会編纂 業務指標ガイドラインについて
- ・各事業体の具体的中長期計画にみる事業方向性
- ・各事業体の中長期計画と指標とのつながり
- ・事業評価の標準化

水問題研究部会 第6回水道事業者分科会 資料抜粋  
講演：「水道事業の業務指標について」

**公表データを中心とした評価**

**できること**

- ・公表されたデータ(水道統計等)に限りはあるが、業務指標(PI)を使って、事業の各種側面を評価することは可能。(全国データの分布との比較)
- ・アンケート調査などと組み合わせることによって、現状の課題の抽出は可能。

**留意点**

- ・全国データの分布との比較は絶対的な評価ではない。
- ・単年度の指標だけでは判断できない指標もある。

**できないこと**

- ・職員の経験年数の分布、委託業務の状況は公表データでは得られない。
- ・水量・水圧・水質といったサービス水準を直接的に評価することは限界。
- ・苦情など窓口対応に関するデータがない。(利用者の満足度はわからない)

2006/5/16 19

# 部会活動報告 4-2

## 水問題研究部会

水道事業者分科会／上水道広域化検討分科会

### < 上水道広域化検討分科会 >

#### 分科会長会社

電源開発(株)

#### アドバイザー

岩手県立大学 総合政策学部 教授 高嶋 裕一氏

#### メンバー (13社)

電源開発(株)、(株)N T T データ、(株)荏原製作所、川崎重工業(株)、(株)熊谷組、(株)ジャパンウォーター、(株)竹中土木、東京電力(株)、(株)東芝、東洋建設(株)、(株)日本総合研究所、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)明電舎  
(他オブザーバ出席 我孫子市水道局)

#### 部会開催日程

- ①平成17年 9月 7日
  - ・分科会長選出、今後の活動方針、作業分担等について
  - ・講演：「広域化の限界：広域化は水道事業を効率化するか」  
岩手県立大学 総合政策学部 助教授 高嶋 裕一氏
- ②平成18年 1月23日
  - ・広域化調査結果報告その1
- ③平成18年 2月22日
  - ・広域化調査結果報告その2
- ④平成18年 2月22日
  - ・今後の広域化と民活の接点について
- ⑤平成18年 6月20日
  - ・最終報告書まとめについて

#### 調査活動内容

当分科会は、2004年度のF市上下水道企業効率化検討部会同様に、セクター対応水問題研究部会の中のいわば一分科会の位置づけとして取り組むもので、上水道事業を効率化の一手法として、広域化を取り上げて現状の分析より入り、課題を抽出し、あるべき姿を模索しつつ、それに向けての解決策を提示するものである。

報告書の主な構成は、以下の通り。

#### ①広域化とは何か、そして、従来の視点からの民活との接点とは

- 公共サービスと広域化の整理
- サービス提供者の違いによる分類
- 公企業とは
- 規制と経営の両面 他

#### ②広域化の現状の調査

- 全国に於ける広域的水道整備計画
- 全国の水道事業
- 水道ビジョンに提示される「広域化パターン」図の考察 他

#### ③今後の広域化と民活の接点

- これから広域化の形態
- 時間軸の中での考察
- 都市計画と切り離して考えられない状況 他

水問題研究部会 第1回上水道広域化検討分科会 資料抜粋  
講演：「広域化の限界：広域化は水道事業を効率化するか」

広域化の限界：  
広域化は水道事業を効率化するか

高嶋裕一（岩手県立大学・総合政策学部）

2005年度PFI/PPP推進協議会「水問題研究部会」  
第1回上水道事業広域化検討部会  
2005年9月7日

2005/7/11

規模の経済の図式

平均費用、限界費用

・規模の経済  
・規模の不経済  
・給水規模が増加→平均費用が増加

限界費用曲線

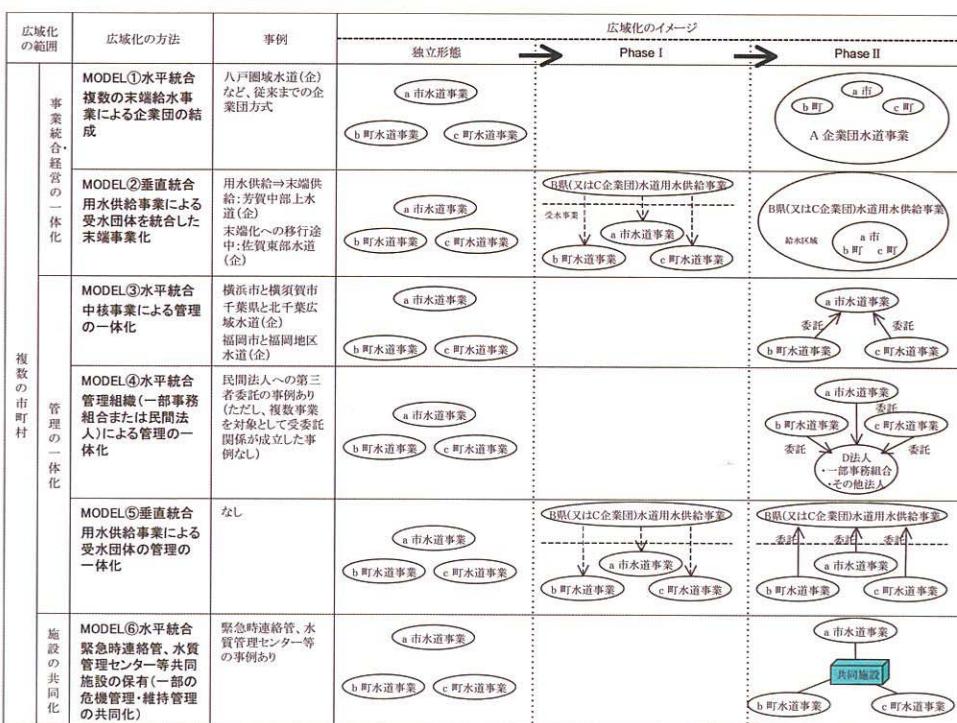
平均費用曲線

最適な規模があるはず！

2005/7/11

5

水問題研究部会 上水道広域化検討分科会 報告書抜粋  
「広域化のイメージ」



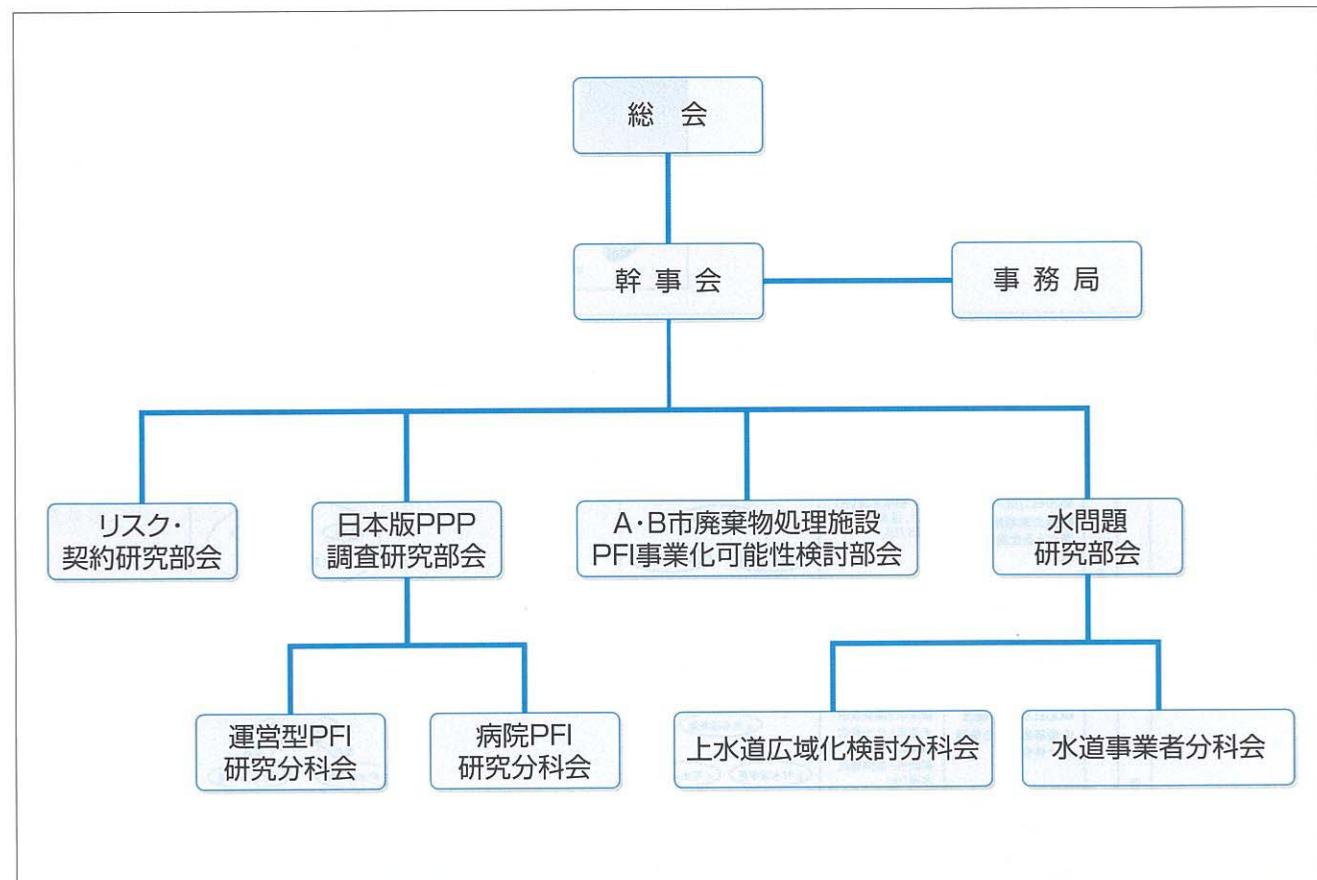
## 推進体制

# 平成17年度推進体制

### 協議会構成体制

メンバー	自治体・公益団体 71 団体、民間会社 43 社
会長会社	電源開発(株)
副会長会社(2社)	(株)荏原製作所、JFE エンジニアリング(株)
幹事会社(13社)	電源開発(株)、(株)荏原製作所、JFE エンジニアリング(株)、石川島播磨重工業(株)、(株)NTTデータ、(株)熊谷組、清水建設(株)、(株)タクマ、日本政策投資銀行、(株)日本総合研究所、(株)東芝、(株)ジェイコム、(株)ジャパンウォーター
監査会社	(株)小松製作所、川崎重工業(株)
事務局	(財)エンジニアリング振興協会

### 部会推進体制

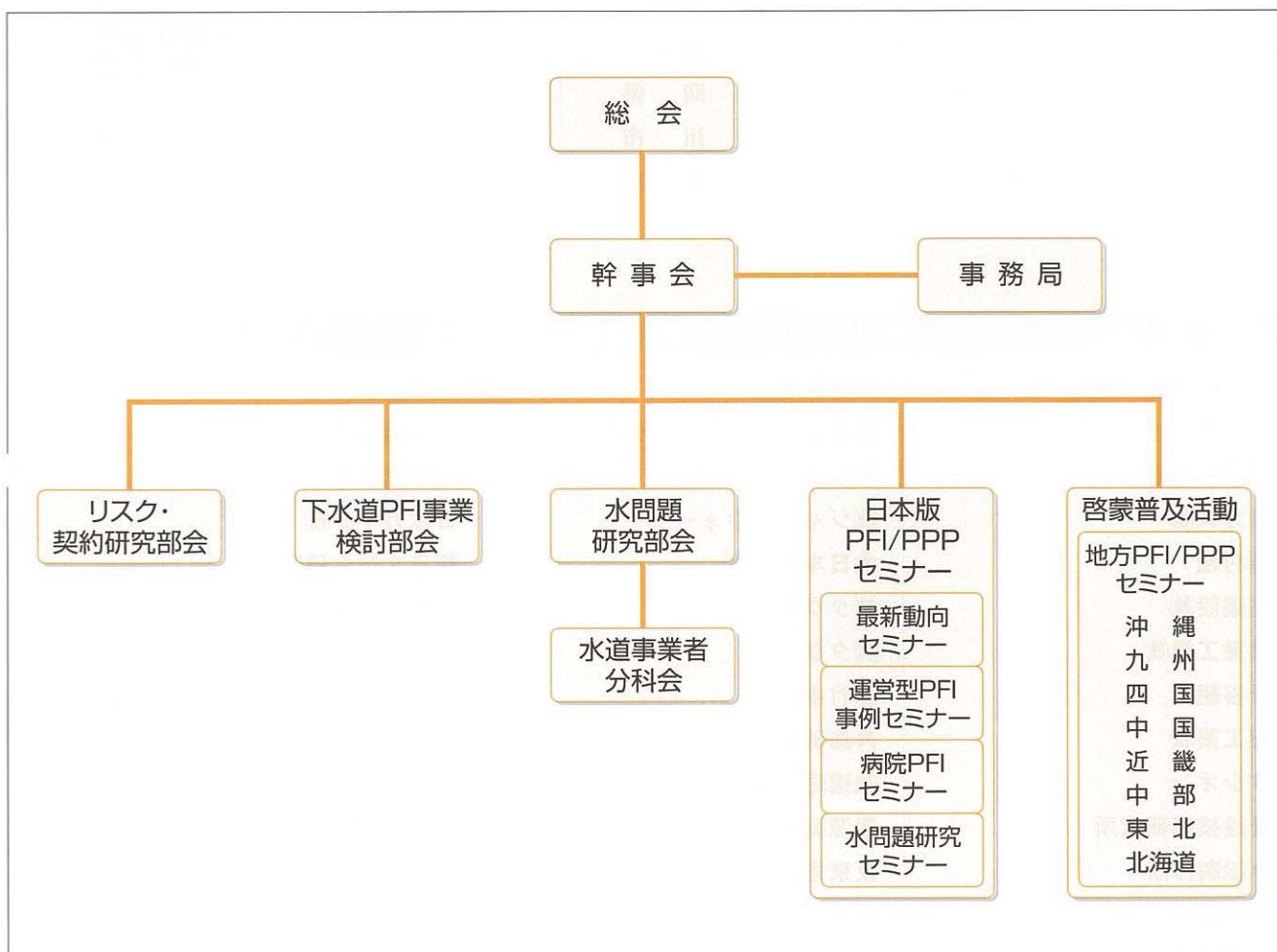


# 平成18年度推進体制

## 協議会構成

メンバー	自治体・公益団体 72 団体、民間会社 42 社
会長会社	電源開発(株)
副会長会社(2社)	(株)荏原製作所、JFE エンジニアリング(株)
幹事会社(13社)	電源開発(株)、(株)荏原製作所、JFE エンジニアリング(株)、石川島播磨重工業(株)、(株)NTTデータ、(株)熊谷組、清水建設(株)、(株)タクマ、日本政策投資銀行、(株)日本総合研究所、(株)東芝、(株)ジェイコム、(株)ジャパンウォーター
監査会社	(株)小松製作所、川崎重工業(株)
事務局	(財)エンジニアリング振興協会

## 部会推進体制



# 平成18年度PFI／PPP推進協議会 参加団体

平成18年5月31日現在

## 参加団体リスト／公益団体・自治体等 (72団体)

北海道	古河市	神奈川県	細江町	下関市
札幌市	埼玉県	川崎市	愛知県	今治市
旭川市	さいたま市	平塚市	名古屋市	北九州
室蘭市	狭山市	藤沢市	知多市	唐津市
稚内市	千葉県	糸魚川市	長岡京市	長崎市
岩手県	我孫子市	上越市	吹田市	熊本県
岩手町	柏市	三条市	箕面市	薩摩川内市
一関市	流山市	石川県	宝塚市	川辺町
釜石市	四街道市	長野県	大和郡山市	宜野湾市
宮城県	松戸市	更埴市	三田市	東埼玉資源環境組合
大館市	東京都	岐阜県	和歌山市	砺波広域圏組合
福島県	稻城市	美濃市	広島県	岐阜県業組合
須賀川市	三鷹市	静岡県	広島市	岐阜清掃同業組合
相馬市	調布市	掛川市	吳市	
茨城县	府中市	天竜市	山口県	

## 参加団体リスト／民間会社 (42社)

石川島播磨重工業(株)	新東産業(株)	東洋建設(株)
(株)NTTデータ	JFEエンジニアリング(株)	戸田建設(株)
(株)荏原製作所	(株)ジェイコム	飛島建設(株)
大阪ガス(株)	(株)ジャパンウォーター	日本ガイシ(株)
(株)奥村組	大日本土木(株)	(株)日本総合研究所
鹿島建設(株)	(株)タクマ	日本政策投資銀行
川崎重工業(株)	(株)タケイ	パシフィックコンサルタンツ(株)
(株)熊谷組	(株)竹中土木	ヴェオリア・ウォーター・ジャパン(株)
栗田工業(株)	月島機械(株)	富士電機システムズ(株)
(株)ケシオン	鉄建建設(株)	ヒロセ(株)
(株)建設技術研究所	電源開発(株)	三菱化工機(株)
(株)小松製作所	東京電力(株)	(株)明電舎
五洋建設(株)	(株)東京リーガルマインド	
清水建設(株)	(株)東芝	
新日本製鐵(株)	東洋エンジニアリング(株)	